

## 各学科等の教育

### ■ 入学者に関する受け入れ方針

東洋理容美容専門学校の教育理念に基づいた人材育成を行うために、教育を受けるにふさわしい学力と倫理観を備えるとともに、創造力に富み、向学の精神を有する学生を受け入れることを目指す。

### ■ 入学定員及び収容定員

課程名	学科名	昼夜の別	修業年限	入所時期	入学定員	収容定員
衛生専門課程	理容科	昼間	2年	4月	40名(1学級)	80名
衛生専門課程	美容科	昼間	2年	4月	120名(3学級)	240名

### ■ 学生データ

学科名	平成29年入学者(1学年)					平成28年入学者(2学年)		
	入学者数 (男/女)	推薦入学者数		一般入学者数		入学者数 (男/女)	進級者数 (男/女)	中退者数 留年者数
		現役生	既卒者	現役生	既卒者			
理容科	13 (11/2)	3	0	7	3	23 (14/9)	22 (13/9)	1 0
美容科	100 (42/58)	36	0	61	3	76 (24/52)	68 (22/46)	8 0

学科名	平成29年3月卒業者				
	入学者数 (男/女)	卒業者数 (男/女)	就職希望者数 (男/女)	就職者数 (男/女)	専門職への就職者数 (男/女)
理容科	20 (9/11)	18 (8/10)	18 (8/10)	18 (8/10)	18 (8/10)
美容科	117 (36/81)	106 (30/76)	106 (30/76)	106 (30/76)	105 (29/76)

※ 就職地域、主な就職先、就職サポートはこちらから  
<http://www.toyoribi.ac.jp/career.html>

## ■カリキュラム、進級・卒業の要件等（学則抜粋）

### 第4章 教育課程、学年の課程修了の認定及び卒業等

（教育課程及び授業時数）

第18条 本校の教育課程及び授業時数は、別表第1のとおりとする。

2 別表第1に定める授業時数の1単位時間は、50分とする。

3 授業時数を単位数に換算する場合の計算方法は30時間をもって1単位とする。

（課程修了の認定）

第19条 課程の修了は、生徒の平素の成績を評価し、かつ学年末において試験の成績及び卒業資格認定のための課題作業等により認定する。

（卒業）

第20条 前条の規定により生徒が本校所定の全課程を修了したと認められるときは、卒業証書を授与する。

2 前項において、専門課程理容科、専門課程美容科を修了した者には、専門士（衛生専門課程）の称号を授与する。

（原級留置）

第21条 生徒のうちで当該学年における所定の教育課程を修了することができなかった者について、教育上必要があるときは、原級に留め置くことができる。

（在籍期間）

第22条 前条の規定により生徒を原級に留め置き卒業が延期された場合の在籍期間は、専門課程においては入学から3年間、通信課程においては入学から6年間を限度とする。ただし、校長の許可を得た休学の期間は在学年数に算入しない。

(別表第1) 教育課程及び授業時数

## ＜衛生専門課程 理容科＞

課 目		内 容	時間数(単位数)	
必 修 課 目	関係法規・制度	理容業に関する法律や制度の意義、内容を学び、理容師として働く際の社会的責任や心構えを養います。	30 (1 単位)	
	衛生管理	感染症や衛生管理の知識を習得し、公衆衛生の重要性を理解するとともに、実際に使用する器具の消毒方法を学びます。	90 (3 単位)	
	理容保健	皮膚や毛髪、人体の構造と機能などに関する専門知識を、実際の理容技術に関連させて理解していきます。	120 (4 単位)	
	理容の物理・化学	理容機器や化粧品、薬剤などを正しく安全に取り扱うために必要な物理・化学の知識を学習します。	90 (3 単位)	
	理容文化論	理容の歴史やファッションの変遷を学び、デザインや色彩学などを通じて美的センスと豊かな表現力を養います。	90 (3 単位)	
	理容技術理論	理容器具の種類や正しい使用方法を理解し、実践の作業に即して理容の技術理論を学びます。	120 (4 単位)	
	理容運営管理	経営管理の理論や接客など、サロン経営に必要な専門知識を学び、これらを実践するための力を身につけます。	60 (2 単位)	
	理容実習	理論をふまえた上で、カット、シャンプー、シェービング、ワインディングなど基礎から応用まで幅広く技術を身につけます。	810 (27 単位)	
選 択 必 修 課 目	一般 教 養	芸術	優れた芸術作品に親しみ、鑑賞する能力を身につけ、生涯にわたって芸術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養います。	30 (1 単位)
		外国語	英語の基礎的会話能力を身につけ、語学学習を通じて外国の文化、生活習慣などに関する理解を深めます。	30 (1 単位)
		保健体育	各種の運動の合理的な実践を通して、運動機能を高め、健やかな心身の形成、協調性のかん養を図ります。	30 (1 単位)
	専 門 教 育 科 目	毛髪科学	毛髪の構造、ヘアケアについての知識を深めます。毛髪技能検定取得を目指します。	60 (2 単位)
		カラーリング	染毛剤の種類や原理、カラーリングの効用を学び、実践を通して技術を身につけます。	60 (2 単位)
		接客法	理容業における接客の意義と技術について具体的事例を挙げながら学びます。	60 (2 単位)
		トータル・ケア	ネイルケア、エステティック、ヘッドスパなどトータルなケア技術を習得します。	90 (3 単位)
		総合技術	必修科目において習得した基礎技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身につけます。	150 (5 単位)
国家試験対策	カット、シェービング、セットの国家試験課題をマスターし、すべて技術が国家試験の手順通りに衛生的に行えるようにします。	90 (3 単位)		
合 計			2,010 (67 単位)	

<衛生専門課程 美容科>

課 目		内 容	時間数(単位数)	
必 修 課 目	関係法規・制度	美容業に関する法律や制度の意義、内容を学び、美容師として働く際の社会的責任や心構えを養います。	30 (1 単位)	
	衛生管理	感染症や衛生管理の知識を習得し、公衆衛生の重要性を理解するとともに、実際に使用する器具の消毒方法を学びます。	90 (3 単位)	
	美容保健	皮膚や毛髪、人体の構造と機能などに関する専門知識を、実際の美容技術に関連させて理解していきます。	120 (4 単位)	
	美容の物理・化学	美容機器や化粧品、薬剤などを正しく安全に取り扱うために必要な物理・化学の知識を学習します。	90 (3 単位)	
	美容文化論	美容の歴史やファッションの変遷を学び、デザインや色彩学などを通じて美的センスと豊かな表現力を養います。	90 (3 単位)	
	美容技術理論	美容器具の種類や正しい使用方法を理解し、実践の作業に即して美容の技術理論を学びます。	120 (4 単位)	
	美容運営管理	経営管理の理論や接客など、サロン経営に必要な専門知識を学び、これらを実践するための力を身につけます。	60 (2 単位)	
	美容実習	理論をふまえた上で、カット、カラーリング、ワインディングなど基礎から応用まで幅広く技術を身につけます。	810 (27 単位)	
選 択 必 修 課 目	一 般 教 養	芸術	優れた芸術作品に親しみ、鑑賞する能力を身につけ、生涯にわたって芸術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養います。	30 (1 単位)
		外国語	英語の基礎的会話能力を身につけ、語学学習を通じて外国の文化、生活習慣などに関する理解を深めます。	30 (1 単位)
		保健体育	各種の運動の合理的な実践を通して、運動機能を高め、健やかな心身の形成、協調性のかん養を図ります。	30 (1 単位)
	専 門 教 育 科 目	毛髪科学	毛髪の構造、ヘアケアについての知識を深めます。毛髪技能検定取得を目指します。	60 (2 単位)
		カラーリング	染毛剤の種類や原理、カラーリングの効用を学び、実践を通して技術を身につけます。	60 (2 単位)
		接客法	美容業における接客の意義と技術について具体的事例を挙げながら学びます。	60 (2 単位)
		トータル・ビューティー	エステティック、メイク、ネイル、アップなどトータル・ビューティー技術を習得します。	60 (2 単位)
		ブライダル	婚礼知識や洋装、和装の技術など幅広く学び、ブライダルビューティープランナーの資格取得を目指します。	60 (2 単位)
		総合技術	必修課目において習得した基礎技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身につけます。	60 (2 単位)
		国家試験対策	カット、ワインディング、ウェーブの国家試験課題をマスターし、すべて技術が国家試験の手順通りに衛生的に行えるようにします。	90 (3 単位)
	コ ー ス *	スタイリストコース エステコース メイクコース ネイルコース	必修課目において習得した基礎技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身につけ、それぞれのコースで認定資格取得を目指します。	60 (2 単位)
合 計			2,010 (67 単位)	